

令和元年度病床機能報告において 非稼働病棟を有する医療機関への対応について

国通知に基づく対応について

1. 病床が全て稼働していない病棟を有する医療機関への対応

- 県が病床機能報告の結果等から、病床が全て稼働していない病棟※1を有する医療機関を把握した場合、当該医療機関に対し、地域医療構想等調整会議への出席を求める。
- 当該医療機関に対して、以下の説明を求める。
 - ①病棟を稼働していない理由
 - ②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画

※1 病床が全て稼働していない病棟とは、過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟をいう。



ヒアリング結果については、次のページのとおり

病棟を稼働していない理由及び今後の運用見通しに関する計画について

医療機関名	病棟名	医療機能	病棟を稼働していない理由	今後の運用見通しに関する計画
岐阜赤十字病院	東4階病棟 (40床)	休棟等 再開予定	・急性期病棟として、主に呼吸器内科、脳神経外科等の急性期病棟として稼働していたが、建物の老朽化に伴い、平成30年5月から非稼働。	・新棟建築の際には、急性期機能として稼働予定(スケジュールは未定)。 ・今後の状況に応じて医療機能の転換も検討する。
朝日大学病院	5階北 (44床)	休棟等 再開予定	・消化器内科の病棟であったが、人的資源、機器備品等の整備が不十分のため、平成30年2月から非稼働。	・病院の将来構想を今年度中に策定する予定であり、その概要を踏まえて検討する。(再稼働する場合は、2022年度以降となる見込み)
羽島市民病院	1病棟2階 (17床)	休棟等 廃止予定	・緊急時の新型インフルエンザ発生時の対応病床として使用するため非稼働。	・2025年を目途に、急性期機能、回復期機能の充足状況並びに、今後検討が必要とされる感染対策機能の役割を検証し、当該地域の役割が果たせるか検討する。
岐北厚生病院	3C病棟 (19床)	休棟等 廃止予定	・医療資源を有効活用し、経営の効率化を図るため、平成25年から非稼働としている。	・現在、施設整備中であり、全体の316床から医療情勢を鑑み、2025年までには262床とする予定であり、当該病棟は廃止予定。